

なんの花かな？



答え：うんしゅうみかん



写真提供：愛知県農林水産部園芸農産課

みかん（温州みかん）

ヒント 1	皮を手でむいて食べる甘酸っぱい果物です。
ヒント 2	昔は冬の果物でしたが、現在ではハウス栽培で夏でも食べられます。
ヒント 3	ビタミンCが豊富で、1日3個で必要な分をとることができるそうです。
主な生産地	蒲郡市、東海市、知多市、南知多町、美浜町
旬	11月下旬～翌年1月
全国生産量順位 (全国シェア)	8位(3.4%) 平成27年産データ
特徴	温州みかんは、葉の脇に3cmぐらいの大きさの白い花を付ける。開花時期は5月頃で花びらは5枚。雄しべはたくさんあるが、雌しべは1本である。「温州(うんしゅう)みかん」の名前の由来は、柑橘系の名産地であった中国浙江省の温州にちなんだもの。約400年前、中国から鹿児島に伝わった柑橘の種から偶然発生したと考えられている。主に関東より南の暖かい地方で栽培されており、愛知県の「蒲郡みかん」は、全国的に有名。昔は冬の果物であったが、現在ではハウス栽培などで夏でも楽しめる。
代表的な料理・食べ方	生食以外では、果汁を搾ってジュースとして楽しんだり、シャーベットやゼリー、ムースなどにしてもおいしい。果汁でムースを作る場合は、味と風味を引き締めるため、皮をすりおろして少し加えた方がよりみかんらしい風味が出せる。また、酸味を活かし、鶏肉料理や豚肉料理などにも利用できる。
栄養・効能	温州みかんはビタミンCが豊富なので、肌荒れや風邪予防に効果的である。また果肉の袋(じょうのう膜)には便秘改善の作用があるペクチンも多く含まれている。さらに袋や白いすじには、フラボノイドの一種「ヘスペリジン」が含まれていて、高血圧や動脈硬化を予防する効果があると言われている。